

# 施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

## ①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	くらし分野	担当課	企画課			
	政策分野	社会基盤・環境	課長名	森 真樹			
	施策	2 公共交通の充実		重点施策の該当	R6	-	R7
施策の目的	対象	市民、来訪者、運行业者	意図	移動手段が確保され、便利に利用できる			

### 施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の( )書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標
地域公共交通の利用に対する市民満足度(%) (どんがタクシー・わかさ姫の満足度平均)	20.1	75.8	78.2	29.5	66.8 (84.0)	(90.0)
航路の利用に対する市民満足度(%) (フェリー・高速船満足度平均)	39.6	41.7	46.3	49.0	35.3 (45.0)	(47.0)
航空路の利用に対する市民満足度(%)	25.1	49.8	44.4	48.5	41.9 (53.0)	(55.0)

### 市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
75.1	22.8	77.0	20.1	79.1	19.1	77.1	22.1		
重要度DI	満足度DI								
66.8	-12.7	68.8	-18.5	72.3	-23.5	71.2	-19.4		

### 施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の( )書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標
地域公共交通の利便性の向上	14-36	デマンド型乗合タクシー(どんがタクシー)利用者数(人)	15,770	14,924	13,646	15,310	17,857 (15,376)	(15,530)
地域公共交通の利便性の向上	14-36	市街地巡回バス(わかさ姫)利用者数(人)	8,850	8,958	10,214	12,381	16,553 (9,228)	(9,321)
航路・航空路の利便性の向上	14-36 14-37	高速船利用者数(離島カード・島発往復者)(人)(鹿-西)	50,870	69,858	100,260	112,992	119,741 (100,000)	(100,000)
航路・航空路の利便性の向上	14-36 14-37	種子島空港利用者数(定期路線・チャーター便・臨時便含む)(人)	42,454	53,739	88,860	108,511	107,257 (90,000)	(90,000)

## ②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月から有人国境離島法による航路・航空路の運賃割引が実施されている。</li> <li>改正離島振興法(令和4年11月28日公布)において「高速安定航行が可能な船舶などの船舶・航空機に対する設備投資」が新たに配慮規定に盛り込まれた。</li> <li>種子島の交通政策に関わる課題の解決に向け、種子島地域公共交通活性化協議会(令和3年7月28日設置)において、令和4年度に種子島地域公共交通計画を策定した。</li> <li>種子島地域公共交通活性化協議会は、南種子町が離脱の意向を示し令和6年度をもって解散の運びとなった。</li> </ul>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内公共交通については、令和5年10月から運賃無償化により、利用者が大幅に増加している。</li> <li>空港バスについては、経営赤字や運転手不足が要因で令和6年3月で廃止することとなり、種子島地域公共交通活性化協議会(1市2町)による予約型乗合タクシーを運行することとした。</li> <li>離島割引カードの利用対象者(準住民)が令和5年2月1日から要介護者の島外の親族で一定の要件を満たす者に拡大し、令和7年3月末時点で学生146人、介護100人にカードの発行を行った。</li> </ul>
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>原油価格高騰や人材不足により、交通事業者の経営の厳しさは続くとともに、運賃への反映が危惧される。</li> <li>市街地巡回バスが更新時期を迎えている。</li> <li>種子島地域公共交通活性化協議会は6年度末で解散となり、空港バスは今後各市町がそれぞれの路線について運行主体となる。</li> <li>高速船運賃については、令和7年4月15日から400円値上げされるが運賃低廉化交付金で補助される一方、令和7年5月1日からバンカーサーチャージ分が1000円(往復)値上がりする。</li> <li>種子島屋久島航路の高速船は6隻導入されているが、造船後29～46年経過し更新が求められ、運航業者も更新の意向が伺える。</li> </ul>

## 施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の実組へ～

今後の方向性	
拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・種子島地域公共交通計画との整合性を図りつつ、市内公共交通の利便性向上のための検討を重ねる。</li><li>・高速船の運賃低廉化や更新については、種子島屋久島振興協議会等で国の支援拡充等を求めている。</li></ul>

### ②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会が出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	【総務企画部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。